



青森・神戸ビジネス交流イベント



REPORT



いいべな神戸
ええなあ青森
つながるマルシェ

青森・神戸
つながる
交流フェスタ

in 青森



令和4年11月5日(土)・6日(日)
エルムの街 ショッピングセンター
《青森県五所川原市》

in 神戸



令和4年12月3日(土)・4日(日)
神戸ハーバーランド umie
《神戸市》

令和5年3月29日、フジドリームエアラインズ (FDA) の青森・神戸直行便の就航から3年を迎えました。
観光客の相互往来に加え、ビジネス面での交流や連携を推進する取組も進められており、
両地域の交流拡大を目的に、令和4年11月と12月、
青森と神戸でそれぞれ双方の物産を展示販売し、魅力をPRする交流イベントが開催されました。



神戸の企業との出会いや消費者の反応を見るよい機会に

物産展に出店した青森の企業・団体からは、
「青森県の観光スポットや見どころ、伝統工芸、食などを広く知ってもらうことが、ひいては商品の販売拡大につながるので、よい機会だと思います」

「うちの商品について、関西の人がどれくらい知識を持っているのか、どんな反応をしてくれるのかを見てみたくて参加しました」

「事前の神戸企業とのマッチング商談会に期待して参加しました。うちの商品に興味を持ってくれる神戸の企業やカタログ販売の会社とつながりができたのは収穫です」

「販売会社から、詰め合わせのセット商品にできないかなど、販売方法についていろいろなアイデアをいただきました。今後の参考にしていきたいです」

などの声が聞かれました。

また、「ビジネス交流先行事例展示」として出店した株式会社ラグノオささきのブースでは、UCCコーヒープロフェッショナル株式会社との連携により開発したコーヒー味の生どら焼き「生どら焼・珈琲」が両日とも完売。ラグノオのりんごスティックとのフードペアリングで開発されたUCCのオリジナルコーヒーも好評で、セットで売れているとのことでした。

一方、神戸の企業からは、

「もともと原料として青森のベビーホタテを使っています。いいものを選んだ結果、たまたま青森産だったのですが、今回参加して、なぜ青森のホタテがおいしいのか、ベビーでも出荷する理由など、そのバックボーンがわかってとてもよかったです」

「うちの商品はふじ系のりんごでないと作れません。現在は市場で買っていますが、例えば選別後の小さいりんごを入手するルートができれば、新商品を作っていきたいと思い参加しました」

「りんごやホタテの他にも、青森には、知らない特産品がいろいろあると思います。新商品のアイデアの元になるので、情報を集めていきたい」

など、原材料の生産地として青森に期待する声が多く聞かれ、青森県企業との新たなつながりも生まれました。



青森県知事と神戸市長も登壇 連携の意義と今後の展望を語る

イベント2日目には、青森県の三村申吾知事と神戸市の久元喜造市長によるトークセッションが開催されました。

津軽三味線奏者、長谷川一義さんの独奏に続いて登壇した三村知事は、スコップ三味線で「六甲おろし」を披露。会場の雰囲気が和らいだところでトークセッションが始まりました。

初めに、三村知事が両地域の連携のきっかけについて説明。「FDA直行便の就航を機に、産業や文化、いろいろな面で交流しませんかと神戸市長にお願いに行ったところ、こころよく承諾していただいた」と述べると、国家公務員時代に青森県に出向した経験がある久元市長は、「自分が青森にお世話になった40年近く前は、青森から神戸に帰るとなるとたいへん時間がかかった。今はFDAで1時間45分。こんなに近くなったのだから、青森と神戸が一緒になって何かおもしろいことをやってみてみたいと思った」と、連携の経緯を語りました。

続いて、編集者時代に仕事でよく神戸市を訪れたという三村知事と、久元市長が、お互いの土地の印象を語り、三村知事は、「震災から、たくましく復興している神戸の姿に感動した。この街の強さ、いろいろなものを受け入れて発展していくたくましさや包容力がすごいと感じ、この街と連携していきたいと本音で思った」と語りました。

トークセッション半ばでは、三村知事が大型モニターでの映像を交えて、青森の魅力を紹介。神戸市側は、市の親善大使であるスマイル神戸の2人が、ヨーロッパ風、アメリカ風、中華街とさまざまな異国情緒にあふれる街並み、海側の都会と山側の自然という2つの表情を持っているといった神戸の魅力を紹介しました。

最後に、三村知事は、すでに始まっているビジネス連携の事例として、株式会社ラグノオささきとUCCコーヒープロフェッショナル株式会社の取組を改めて紹介。久元市長とスマイル神戸の2人とともに、連携で生まれた「生どら焼・珈琲」を試食した後、「革新的な街・神戸と、変わらない良いものを残してきた青森。良い連携が、経済、観光、文化にいい効果をもたらす」とし、これに応じて久元市長は「神戸は港から入ってくるいろいろなものを取り入れて発展してきた街。これからは神戸空港からもどんどん入ってくる。神戸の美味しいものも、青森の食材や郷土料理を取り入れていくことでまた進化していく」と連携への期待と展望を語り、トークセッションは終了しました。



いいべな神戸 ええなあ青森 つながるマルシェ

青森での販路開拓に期待 神戸市から12店が出店

神戸と青森の魅力的な商品を販売！
新たな逸品との出会い！

神戸・青森コラボブース
ビジネス連携で誕生した商品を展示！
企業の方も見です！

神戸と青森の魅力的な商品を集めました

神戸の観光スポット紹介や
ガラポン抽選会を開催！

11.5 sat 6 sun 10:00→18:00 (6日は17:00終了)

[会場] 2階 ELMホール **入場 無料**

主催 / 公益財団法人 神戸市産業振興財団

■神戸ブース ■青森ブース ■神戸・青森コラボブース

1 洋食Quattro
一人気のクトロコロッケは、羊しゃんを包み込んだハンバーグと、仕上げた揚げたポテトが絶品。お土産にもってこの神戸の味を堪能できる一品。

2 選の酒
【白鶴 和歌 純米吟醸 白鶴酒】は、リンゴやメロンを思わせる果実香、爽やかな酸味と芳醇な味わい。

3 神戸南京町 天徳堂
角煮、梅干、黒豆、干しシシトフが入ったもちもち大人気漬物。また、チキンもみも人気。お土産にもって便利！

4 (神戸)長田タンク筋
神戸の下の町長田のソウルフード。【そぼろ】、【モスチ】とごんごんにくを旨味調味料で仕上げたのがこの長田タンク筋。

5 ポルトパニーノ
神戸にあるパニーノ専門店が作るイタリアンサンドイッチ。

6 cugin + T (ごさんと)
【ごさんと】を刺す、とろろから作る。【おまかせ】は、おまかせで刺すように見える刺しと刺しのお店の。

7 かんたんデザインのアートプリントシャツ・ロングスリーブ・パーカー・マスク等揃って

8 FDA
FDA食品 - 神戸産は毎日生産しています。神戸までたった1時間50分。送料 6,000円。パスタ専用、シニア専用などいろいろなお得なプランもご用意しています。神戸産食品は100円まで送料50分のパスタ専用もご用意しています。ぜひFDAで美味しい神戸へお出かけください。

9 福太郎
●バリエーションが豊富
●紙ひこうき機
●音響効果音
●SNS 会員登録で
●オリジナルグッズ
●オリジナルグッズ
●オリジナルグッズ
●オリジナルグッズ
●オリジナルグッズ
●オリジナルグッズ
●オリジナルグッズ

10 焼の酒
神戸の酒子といはれ味付けをして食べるのがミソ。ごはんのおかずやお酒にもってこの神戸の味を堪能できる一品。

11 餃子GZB
神戸の餃子といはれ味付けをして食べるのがミソ。ごはんのおかずやお酒にもってこの神戸の味を堪能できる一品。

12 観音屋
美味しいチーズケーキとチーズ料理の店。可愛いデザートが魅力の神戸を代表するお菓子屋。お土産にもってこの神戸の味を堪能できる一品。

13 加集製菓店
兵庫産小麦粉、淡路産小麦粉、くらもちを使い、お土産にもって便利！

14 トミーズ
北海道産大豆を使った独自の【糖衣】を食クリーム入りのあんかけで仕上げたお菓子。お土産にもって便利！

15 あら、りんご。
神戸に本店を構える青森りんごの専門店。青森りんごを産地直送。その時最新・美味しいりんごを使ったりんご飴。

16 六甲ビール醸造所
SAISONはマスカットやライチの味を表現。DADAIALEは産地直送。美味しいのり付けの塩。

17 TOKINONE
神戸のハイブランド「イニ」に込められた「タタキ」を味わう。お土産にもって便利！

これに先立ち、令和4年11月、青森県五所川原市で開催された交流イベント「いいべな神戸 ええなあ青森 つながるマルシェ」には、神戸市から12店舗、青森から5店舗が出店。双方の自慢の商品を販売しました。

参加した神戸の企業からは、
「初めて青森での催事に参加でき、神戸をPRするきっかけになったと思う」

「青森県の方に好評であったと感じており、今後さらなる交流が深まると感じている」

といった声も聞かれました。

また、本店が神戸市にあり、青森のりんごやりんご加工品を製造・販売している「あら、りんご。」は、青森ファクトリーショップ（青森県十和田市）オープンPRを兼ねて出店。青森の農家直送のりんごを使い、りんご飴を製造するというビジネス連携を実践しており、りんご飴は神戸で人気商品になっているとのことでした。

主催した神戸市産業振興財団では、青森県との連携によるこうした販路開拓支援で、双方の産業活性化につながってほしいとすうえで、「青森の方に神戸を身近に感じていただけたと思う。また機会があれば、神戸の魅力をもっと伝えていきたい」と話していました。

一方、青森からの出店者からは、「地元で販売している商品なので、ここでの販売よりも、今後、神戸の販路を開拓するためのつながりをつくりたくて参加した」といった声が多く聞かれました。

会場には、神戸の観光PRコーナーとFDAのブースも設けられ、神戸市の魅力の紹介や、青森・神戸線の利用拡大に向けたPRを展開。会場は、多くの来場者で賑わいました。

